GANZ AUTOMOTIVE

## DUAL CAMERA DRIVE RECORDER

# ZC-FV52G

## INSTRUCTION MANUAL

CBC GROUP

# 主な特長

ドライブレコーダは、映像と音声データを連続ループ形式で記録します。車両が衝突、衝撃などの事故、または突然の加速度関連の事象に巻き込まれた場合、その関連データがマークされ、格納されます。その後、関連するシーンを再生し、加速度、車両速度、方向および位置を検証することにより、データ解析および原因特定を行うことができます。

## 常時録画

電源がオンの間は、前方／後方の映像および音声データは連続的に記録されています。SDカードが満杯となると、ラウンドロビン（先入れ先出し)方式で古いファイルが最新ファイルにより置換されます。(P.9参照)

## イベント記録

イベント記録には、設定された制限値を超える衝撃または異常な加速度のGセンサによる検出、手動記録ボタン、外部アラームボタンでの記録の3種類があり、イベント発生前後のそれぞれ1分間のデータが記録されています。SDカードが満杯となると、ラウンドロビン(先入れ先出し)方式で古いファイルが最新ファイルに置換されます。(P.9参照) イベント記録データはイベント記録データでしか上書きされませせん。ただし、本体横のMボタン(P.14参照) を押すとイベント記録データを常時録画により強制的に上書きすることができます。

## 赤外線ライトによる夜間記録

本製品に含まれる不可視光源を用いたIR（赤外線暗視）ライトモジュールにより、後方向き監視カメラからの夜間ビューを記録可能です。

## 映像／音声データの再生

記録されたデータは、SDカードに提供されている再生用ソフトウェアを使用して再生できます。解像度は640×480、2チャネルで毎秒20フレームです（各チャネルで平均10fps@VGA）。

## データ解析

SDカードに提供されている便利なプレーヤを使用して、記録データを解析し、衝撃発生時の車両の移動速度、位置、方向を容易に検証できます。

# 目次


**安全上の注意** 4
**構成品** 5
**各部の名称** 6

本体前面 6
本体背面 7
赤外線暗視ライト 7
赤外線暗視ライト使用時と不使用時の映像比較 8

**技術的仕様** 9

メモリ仕様 9

**録画データ保存の説明** 10

**取り付け** 10

1. ユニットの取り付け 10
取り付け位置 11
2. 赤外線暗視ライトの取り付け 12
3. 外部アラームボタンの取り付け 12
4. シガープラグ電源コードの接続 12

**本製品ご使用上のヒント** 13

映像記録のためのユニット準備 13
運転中の常時録画 13
SDカードの関連情報 13
各部の機能 14

**GANZプレーヤの使用方法：再生、SDカードと初期システム設定** 15

最小必要条件 15
ボタン 16
コントロール 16
システム設定 17
再生 18
AVIファイルフォーマットに変換 19
GIS/シティマップとのインタフェース 20
ポップアップウィンドウを表示 21
Gセンサデータの解析 22

**組込みディスプレイでの本機ステータス表示** 23
**情報およびステータス表示** 23

保証規定 24
保証書 24

# 安全上の注意

本製品を安全に正しくご使用いただくために、下記の注意事項にしたがってください。

本機で記録した映像は、被写体のプライバシーの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的では使用しないでください。個人情報保護法に抵触する恐れがあります。これらの場合ついては弊社は一切責任を負えません。

**警告** 本製品の分解、修理、改造はしないでください。
**もし行った場合は、保証が無効となり、当社はユーザによる製品の破損や問題の発生について責任を負いません。**

**警告** フロントガラスに過度の着色を行うと、再生時の画像が不鮮明になったり歪むことがあります。
**最初に映像を記録、再生して、記録映像が許容可能であることを確認してください。**

**警告** カメラのレンズを覆わないでください。
**記録品質が影響を受けます。**

**警告** 本製品をいったん取り付けたら、製品を操作したり凝視しないでください。
**交通事故の原因となることがあります。**

**警告** SDカードの容量を越えないように注意してください。
**SDカードが満杯の場合、手動アラームやGセンサベースのトリガを記録できません。**

**警告** 添付のケーブルと指定された電源入力のみを使用してください。
**製造業者提供以外のケーブルを使用すると、本製品が破損したり、火災や感電事故が発生することがあります。**

**警告** 本製品の視界を前面ウィンドシールドで塞がないでください。
**GPS受信機が正常に動作しないことがあります。**

**警告** 工場で認可された部品のみを使用してください。認可された電源ケーブルを使用してください。
**必要なら、担当の正規再販業者にご相談ください。**

**注意** 本製品のクリーニング時は、水や揮発性溶剤を使用しないでください。
**本製品が損傷したり、火災や感電事故が発生することがあります。**

**注意** 本製品には過度の衝撃を与えないでください。また本製品には絶対に異物を挿入しないでください。
**本製品が損傷したり、火災や感電事故が発生することがあります。**

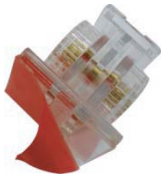
**注意** 映像品質は照明条件により、またGPSは信号受信による影響を受けます。本製品を夜間またはトンネル内で使用された場合、システム動作が影響を受けます。

**注意** 製品の取り付け位置は勝手に変えないでください。
**GPS通信エラーが発生することがあります。**

# 構成品

本体

シガープラグ電源コード



本体ガラス取付けステー

外付けアラームボタン

赤外線暗視ライト

SDカード

SDカードリーダー

取扱説明書

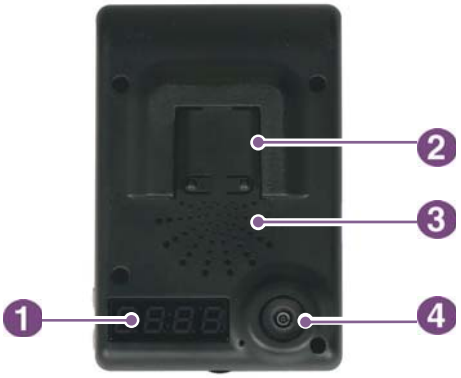
ヒューズ

# 各部の名称

## 本体前面

| 番号 | 名称 | 説明 | |
|---|---|---|---|
| 1 | **電源接続ポート** | ユニットの電源接続 | (P14参照) |
| 2 | **フロントマウント接続** | 本体ガラス取り付け<br>ステー取り付け | (P10参照) |
| 3 | **前方向き監視カメラ** | 前方の映像を記録 | (P14参照) |
| 4 | **SDメモリスロット** | ユニットにSDカードを挿入 | (P14参照) |
| 5 | **上書き許可Mボタン** | 上書きを許可します | (P14参照) |
| 6 | **手動記録Eボタン** | 手動記録を実行 | (P14参照) |
| 7 | **音量調整** | 音声通知の音量を調整 | (P14参照) |

## 本体背面




| 番号 | 名称 | 説明 |
|---|---|---|
| 1 | **ステータス表示** | 本機ステータスを英文または記号で表示　(P23参照) |
| 2 | **リアマウント接続** | 赤外線暗視ライトに取り付け　(P12参照) |
| 3 | **組込みスピーカ** | チャイムなどの情報を音声出力 |
| 4 | **後方向き監視カメラ** | 車両内部の映像を記録　(P23参照) |

## 赤外線暗視ライト

| 名称 | 説明 |
|---|---|
| **赤外線暗視ライト調整** | 内部監視カメラによる夜間ビュー記録用のIR補助ライト<br>出力レベルを調整 |
| **電源接続** | 赤外線暗視ライトに電源コードを接続 |

*赤外線暗視ライトの有効範囲には、1列目の後部座席が入ります。

# 赤外暗視ライト使用時と不使用時の映像比較

## 使用時

## 不使用時

# 技術的仕様

| 項目 | 仕様 | |
|---|---|---|
| **カメラ型式** | CMOSセンサ | |
| **ビデオ解像度** | VGA (640 x 480)、毎秒最大10フレーム、2チャネル | |
| **音声** | 組込みマイクロフォン | |
| **GPS** | 組込みGPSモジュール | |
| **自動イベントセンサ、アラーム入力** | Gセンサ（3軸）、手動外部アラームトリガ | |
| **メモリ** | SDカード（512Mから16GB）　* | |
| **電源入力** | 作動温度範囲 | -20℃～70℃ |
| | 本体 | 記録ユニットに直流5V |
| | シガレットライタープラグ | 直流12Vから24V入力 |

* 2GB SDカードがユニットに付属されています。

## メモリ仕様

* 平均時間です（昼間の商業地区で記録）。

| SDメモリ容量 | 最大記録時間 | 常時記録時間 | イベント記録時間 | プリセット記録時間ごとに生成される記録イベント数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1分 | 2分 | 3分 |
| **512MB** | 23分 | 7分～23分 | 6分～16分 | 6件 | 5件 | 4件 |
| **1GB** | 45 | 13分～45分 | 24分～32分 | 12件 | 10件 | 8件 |
| **2GB** | 90 | 34分～90分 | 46分～56分 | 23件 | 17件 | 14件 |
| **4GB** | 180 | 100分～180分 | 60分～80分 | 30件 | 25件 | 20件 |
| **8GB** | 370 | 190分～370分 | 160分～180分 | 80件 | 60件 | 40件 |
| **16GB** | 750 | 430分～750分 | 240分～320分 | 120件 | 100件 | 80件 |

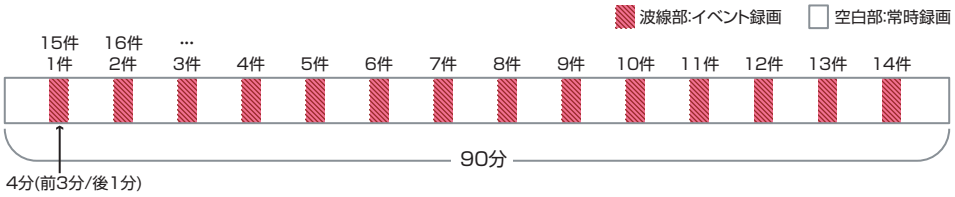
* 時間はカメラの監視動作量と照明条件により異なります。

| 推奨SD型番 | サイズ |
|---|---|
| **SanDisk** | 2G |
| **SanDisk SDHC - class2** | 4G |
| **SanDisk Extreme3 SDHC class6** | 8G |
| **SanDisk Ultra2 SDHC class4** | 16G |

# 録画データ保存の説明

## 2GBのSDカードを使用し、録画時間設定事前3分に設定した場合

イベント録画データは14件保存可能です。15件目からは古いイベント録画データから上書きされていきます。
また、本体横の上書き許可Mボタンを押した場合、イベント録画データが常時録画データと同じ扱いに変更され、
全ての録画データが常時録画データで上書きされるようになります。




# 取り付け

**お願い**

- 本製品を取り付ける前に、必ずエンジンを停止してください。
- 本製品は衛星からの信号を受信可能な場所に取り付けてください。
- ユニットを最終的に取り付ける前にカメラの視界に問題がないことを確認してください。(内部カメラがルームミラーで塞がれていないかなど。)
- 本体が正しく垂直/水平となるようにユニットを取り付けてください。

取り付け面をアルコールでクリーニングし、乾燥させてください。
両面テープの粘着力を高める為、テープ·フロントガラス接着部をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。
また、ガラス取付けステーのみを接着して1日時間を置いてから本体を取り付けると、接着力が上がります。

## 1. ユニット の取り付け

### 方法:本体ガラス取付けステーで取り付け

**1.** ユニット 前面の固定プラスチックカバーを外します。

**2.** ガイド に固定型ホルダを挿入します。

**3.** マウントを取り付ける場 所(ウィ ンドシールドまたは他の表面)を決めます。

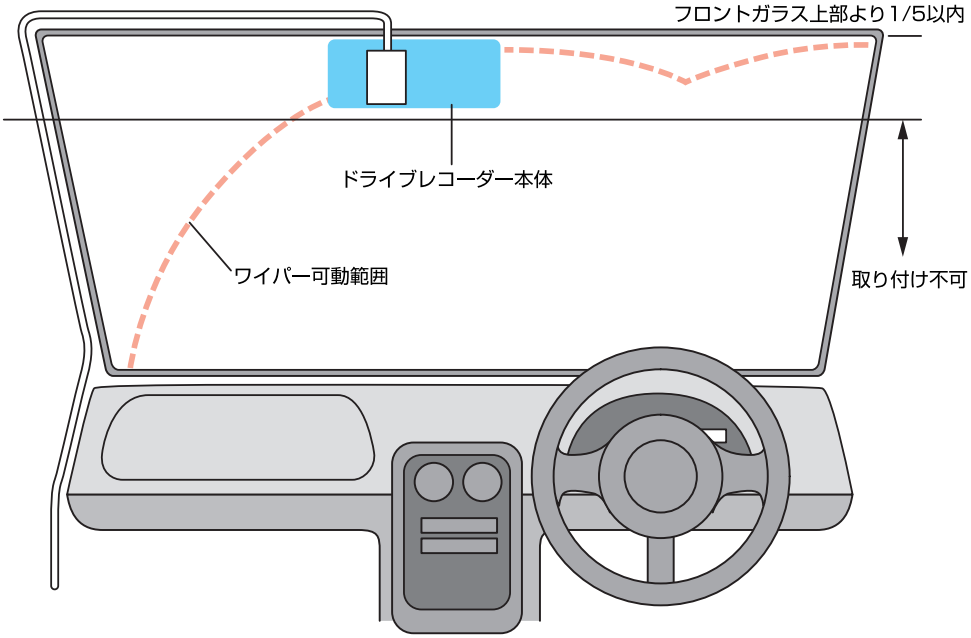
**4.** 取り付ける表面をクリーニングし、テープマウント の赤 いフィルムを外します。　ウィンドシールドに強く押し付けて取り付けます。

(お願い)
本体が脱落しないように取り付け後はフロントガラス前面よりテープが全体的に張り付いていることを確認してください。

## 取り付け位置

本体はフロントガラス内側のルームミラー付近に取り付けてください。
（下記■での範囲内） その他の場所への取り付けは行わないでください。

■ の範囲へドライブレコーダーを取り付けてください。

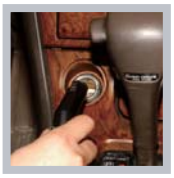


## 2. 赤外線暗視ライトの取り付け

1. 電源ケーブルアダプタをドライブレコーダー本体横に接続します。

2. 赤外暗視ライトをドライブレコーダー本体にスライドさせて接続し、電源ケーブルアダプタを赤外線暗視ライト横に接続します。

3. シガープラグ電源コードをシガレットライタープラグに挿入します。

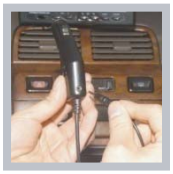


**お願い**

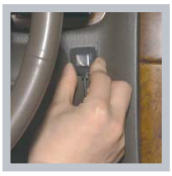
- ユニット電源の接続は、赤外線暗視ライトを接続した後に行ってください。
- 赤外線暗視ライトを運転者と同乗者の方に向けください。

## 3. 外付けアラームボタンの取り付け

1. アラームボタンのケーブルをシガープラグ電源コードに挿入します。



2. 外付けアラームボタンの粘着テープを剥がして、ボタンを希望する場所に取り付けます。

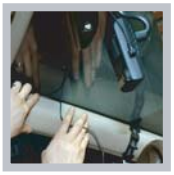


## 4. シガープラグ電源コードの接続

1. シガープラグ電源コードをユニット右側のケーブルに接続します。

2. ケーブルをユニット上部に向けて引き上げます。

3. シガープラグ電源コードを運転席または助手席近くのドアの割れ目に挿入し、きちんと整えます。



4. シガープラグ電源コードをシガレットライタープラグに挿入します。

シガレットライタープラグが無い場合、取付け業者などに依頼してシガープラグを分解しバッテリーに接続してください。ただし、その際の故障は弊社では責任を負えません。

# 本製品ご使用上のヒント

## 映像記録のためのユニット準備

1. 車両のエンジンを停止します。ユニットを取り付け、添付のシガープラグ電源コードと接続します。エンジン停止中に電源が供給されている場合と、供給されていない場合があります。通常は、エンジンのステータス（状態）と一致するコンセントを使用した方が良いでしょう。エンジンを始動します。LED表示ウィンドウに"dR Init"が表示され、映像レコーダの初期化が開始します。LED表示ウィンドウは一連の数字を表示し、GPS衛星信号の取得を開始したことを示します。
2. 電源投入の約25秒後に、ユニットの初期化が完了し、"ding dong"とチャイムが鳴動します。その後もユニットが一連の数字を表示し、最後に"GPS FINE"を表示することがあります。これは、ユニットを調整して更に精度を上げていることを示します。
3. チャイムの鳴動後、本機は連続記録を開始します。

## 運転中の連続記録

1. 本機は車両の速度を表示し、停止したときは時間を表示します。
2. SDカードが満杯になると、最も古いファイルに上書きして記録を続行します。イベント記録データは、イベント記録データでしか上書きされません。また、イベント記録データは、常時録画と同様に、最も古いファイルから上書きされていきます。(P.9参照)もし、イベント記録データも常時録画により上書きさせたい場合は、本体横の上書き許可Mボタンを押してください。(P.14参照)
3. エンジンを切るか、電源ケーブルをシガープラグから引き抜くと、本機による記録は終了します。
4. SDカードには、専用ビューワ"GANZ player.exe"があります。このソフトウェアを使用するときは、SDカードをパソコンに差し込みます。

## SDカードの関連情報

**このカードは他の目的には使用しないでください。**
**このカードを他の目的で使用した場合、無関係なファイルが検出されて致命的エラーが発生することがあります。**

適正な動作を行うために、ユニットに付属されているSDカードのみを使用してください。SDカードの互換性については、当社のウェブサイトを参照してください。お使いのパソコンがSD SDHC2.0標準メモリカードに非対応の場合は、別なSDHC2.0 USBリーダを使用してください。SDカードを長期間にわたって使用する場合は、SDカードを定期的にフォーマットすることをお勧めします。

**お願いとお知らせ**

- ●SDカードをフォーマットした後は、ビューワの設定で時間帯を選択してください（15ページを参照）。
- ●設定を行わない場合、時間と時間帯が一致しない場所ではシステム初期化に最大10分間かかることがあります。
- ●SDカードをフォーマットすると、記録済みのすべての映像ファイルが削除されます。重要な映像ファイルがあれば、必ずバックアップしておいてください。

# 各部の機能

### 前方／後方監視カメラ

カメラは水平／垂直でなければなりません。カメラのレンズが覆われていたり、汚れていると、鮮明な画像が捕捉されないことがあります。定期的なクリーニングが必要です。レンズをクリーニングするときは、柔らかいカメラレンズクロスを使用して傷をつけないようにしてください。

### 手動記録Eボタン

運転手が希望するシーンを記録したい時は、手動記録(E)ボタン、もしくは外付けアラームボタンを押します。これにより、ボタン押下動作の1分前と1分後のシーンが記録、保存されます。(プリイベント時間は、1分、2分、3分に設定可能です。P.9参照)これらのイベント記録データは、SDカードの容量が満杯になると、古いデータから新たなイベント記録データによって上書きされていきます。

### SDカードスロット

SDカードの挿入と取り出しは、ユニット電源を切ってから行ってください。また、SDカードの出し入れは硬貨等を使用してください（誤った出し入れを防ぐ為に挿入口を深くしております。）SDカードを新しいメモリカードと交換した場合は、新しいカードをFAT32でフォーマットし、ウェブサイトからソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。新しいSDカードを使用する前に、ビューワの設定で時間帯を選択してください。

### 上書き許可Mボタン

“ding dong”のチャイムが鳴動するまでこのボタンを約3秒間押し続けてください。これまでのイベント録画データが、常時録画データで上書きされるようになります。

### 音量調整

音声の音量レベルを運転者の好みに合わせて調整します。左回転(<<)で音量が上がり、右回転(>>)で下がります。

### 電源接続ポート

シガープラグ電源コードの一端をユニットの対応するコネクタ電源ポートに接続します。ケーブルの他端を車両のシガレットライタープラグに接続します。 添付の電源コードは失くさないでください。また他のケーブルは使用しないでください。

### ステータス表示

現在の本機ステータスが表示されます。（P23参照）

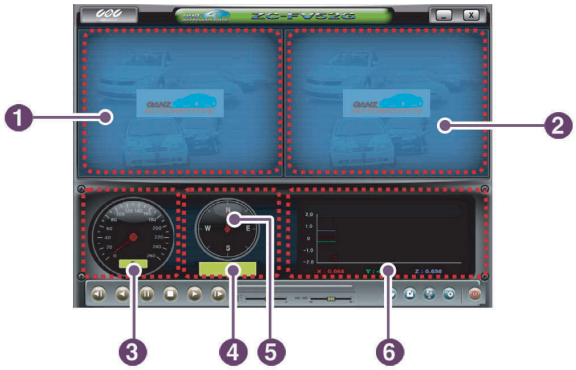
# GANZプレーヤの使用方法：再生、SDカードと初期システム設定

## 最小必要条件

| 項目 | 必要条件 |
|---|---|
| CPU | Pentium 4/1GHz以上 |
| メモリ | 512MB以上のRAM |
| オペレーティングシステム | Microsoft Windows XP Home Editionまたはそれ以上 |
| グラフィック | DirectX8.1bまたはそれ以上 |
| ハードディスクドライブ容量 | 200MB以上 |

*Microsoft Windows Vistaパソコンで最初に使用するときは、GANZプレーヤを管理者モードで実行してください。

SDカードを挿入して、パソコンに接続します。PLAYERフォルダ(Jpan)のGANZPlayer.exeをダブルクリックすると、次のウィンドウが表れます。




| 名称 | 説明 |
|---|---|
| 1 前方表示 | 前方向きカメラで記録した映像を表示 |
| 2 後方表示 | 後方向きカメラで記録した映像を表示 |
| 3 速度計 | 車両速度を表示 |
| 4 座標 | 車両の座標（緯度と経度）を表示 |
| 5 コンパス | 車両の移動方向を表示 |
| 6 アナライザ | Gセンサが検出した衝撃をグラフ表示 |

## ボタン

| ボタン | 機能 | ボタン | 機能 |
|---|---|---|---|
| | 前フレームに移動 | | ファイルを開く |
| | 逆方向に再生 | | ファイルをAVIフォーマットに変換 |
| | 再生を一時停止 | | 記録されたデータをマップにリンク |
| | 再生を停止 | | システム設定を開く |
| | 通常速度で再生 | | 終了、プログラムを閉じる |
| | 次フレームに移動 | | ウィンドウを非表示／閉じる |

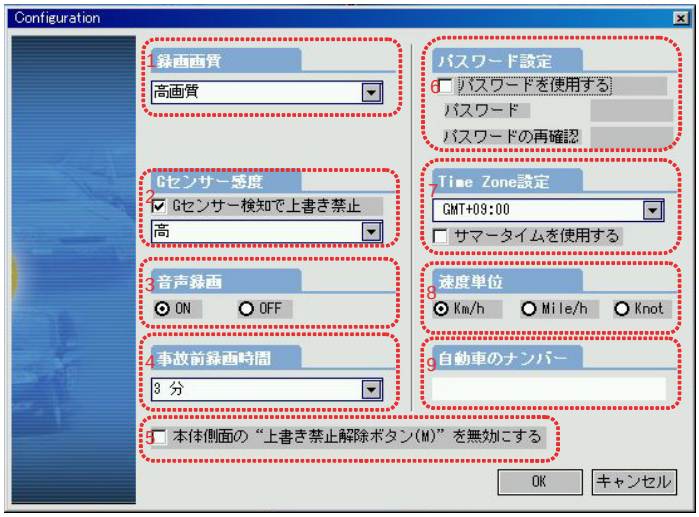
## コントロール

音量調整　　再生速度調整

- 音量調整：記録データを再生しながら音量を調整
- 再生速度調整：映像の再生速度を調整

# システム設定

右下隅のシステム設定アイコン（ ）をクリックします。すると次のウィンドウが表示されます。

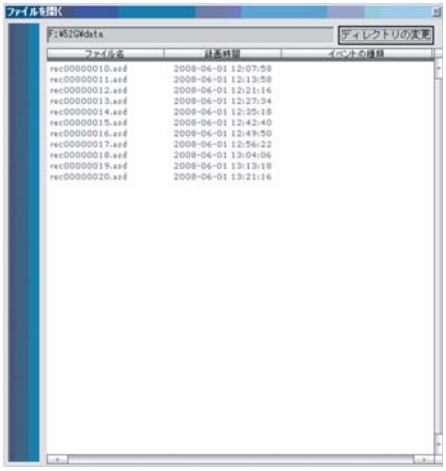



| 番号 | 名称 | 説明 |
|---|---|---|
| 1 | 録画画質 | 映像記録品質を設定（規定値：高画質） |
| 2 | G検知による<br>録画有無の設定 | チェックを外すとG検知でのイベント録画をしなくなります |
| 3 | 音声録画 | 音声記録機能を有効／無効 |
| 4 | 事故前録画時間 | イベント前のシーン記録時間を設定（例：3分に設定すると、T-eyeは前の3分間のシーンと後の1分間のシーンを記録します。） |
| 5 | 上書き許可Mボタン<br>使用可否の設定 | チェックを入れると、本体側面の上書き許可Mボタンを押しても、上書き許可されなくなります。 |
| 6 | パスワード設定 | パスワードを設定すると映像を閲覧する際にパスワードを要求されるようになります。 |
| 7 | Time Zone設定 | ユーザの時間帯を設定(日本はGMT+9:00) |
| 8 | 速度単位 | 車両速度の単位を設定 |
| 9 | 自動車のナンバー | SDカードを挿入した車両に関連するナンバープレート番号または自動車体ID番号を設定。 |

# 再生

1. ビューワ右下隅のフォルダアイコン（）をクリックした後、**ディレクトリの変更**をクリックして記録映像の位置を選択します。通常、最初にこの動作を行ったときは、ファイルはSDカード上にあります。他の場所に保存されている場合は、このユーティリィを使用してコンピュータ内の再生するファイルを探します。

2. ファイルリストが表示されたら、再生するファイルをダブルクリックします。




- FILE NAME: 記録された映像のファイル名
- RECORD TIME: 映像を記録した日時
- EVENT TYPE:　記録形式（連続記録／イベントボタン記録／外付けアラームボタン記録/G検知記録）
- FILE NAME、RECORD TIMEまたはEVENT TYPEでソートするリスト名をクリックします。

* Event Type:

- 常時記録:
名称はありません。クリックすると、運転中の記録ファイルが表示されます。
- 手動記録
**BUTTON**というワードの注釈が付きます。これにより、運転者がレコーダの押しボタンまたはリモートイベント押しボタンを使用してマークしたファイルを検出できます。
- Gセンサ（衝撃センサ）自動記録
**G-SENSOR**という注釈が付きます。このデータは何らかの衝撃、突然の加速または事故が検出されたときに記録されます。

# AVIファイルフォーマットに変換

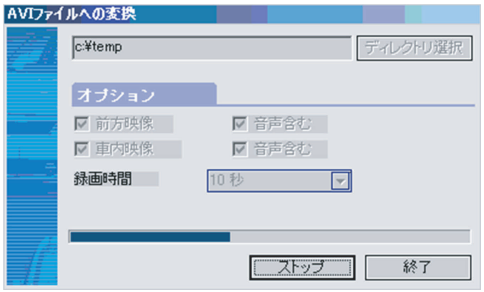
記録データの一部をAVIファイルフォーマットに変換すれば、そのデータを他の人と共有したり電子メールで送信することができます。

**1.** AVIファイルフォーマットに変換する映像クリップの開始位置でAVI変換ボタン（ ）をクリックします。映像再生が終了し、AVI変換ウィンドウが表示されます。

**2.** ウィンドウから次のオプションを選択し、スタートをクリックします。

1) ディレクトリ
2) 前方／後方の映像および音声データを含めるか否かを選択
3) AVI録画時間

**3.** 変換の進行状態が次のように表示されます。




* AVIファイルが作成できるのはハードディスク上だけで、SDカードやUSBメモリスティックなどのポータブルディスク上には作成できません。

# GIS/シティマップとのインタフェース

本機は運転中にGPSデータを同時に記録するので、マップ上で運転経路を確認できます。右下のGIS/マップアイコン（ ）をクリックします。

* この機能を使用するには、システムがインターネットにアクセスできる環境が必要です。

マップ上の移動、
拡大／縮小

Map　通常マップを表示

Satellite　衛星マップを表示

Hybrid　通常マップと衛星マップの両方を表示

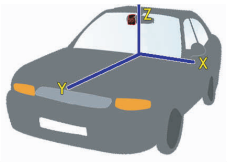
## ポップアップウィンドウを表示

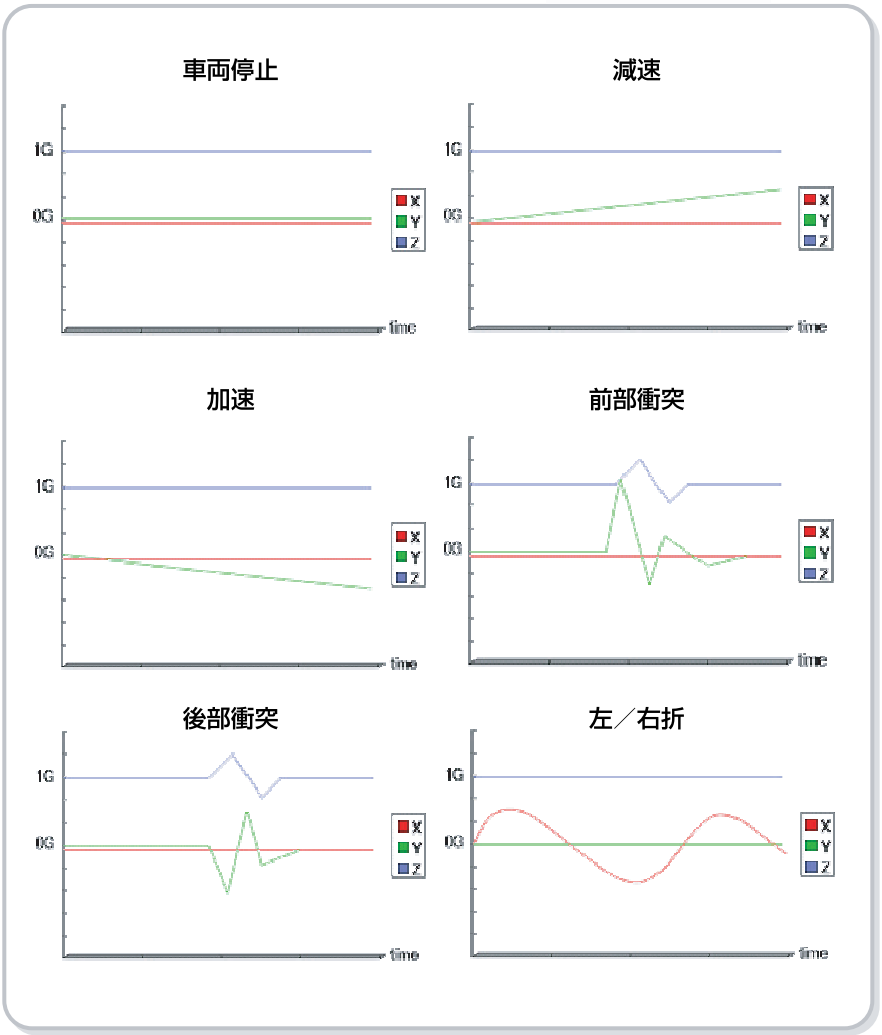
表示ウィンドウでダブルクリックすると、記録された映像が元のサイズで再生されます。

# Gセンサデータの解析

Gセンサ（重力センサ）はX、Y、Z軸のデータを提供し、SDカードに他の記録データと共に格納します。ビューワーを使用すると、この情報はグラフ形式で表示されます。作成されるグラフを使用して運転状態や運転者の習性を解析できます。表示される曲線の振幅は車両の型式により異なります。

* X軸：車両の左右
* Y軸：車両の前後
* Z軸：車両の上下



# 組込みディスプレイでのステータス表示

| ステータス | イベント | 音声またはステータス | 表示 |
|---|---|---|---|
| ユニット電源投入後のシステム初期化 | 電源投入後のシステム初期化 | 音声なし | [ dr ][Init] |
| | SDカード未挿入 | スピーカからチャイム（"ding dong"）鳴動。（電源を切り、SDカードを挿入し、電源を再投入。） | [ Err][ Sd ] |
| | GPS更新エラー | 解像度：電源を切り、10秒間待って電源を再投入。 | [Err0] |
| | GPS更新中 | GPSデータを受信中、ダウンロード中 | [dbUP] |
| イベント記録 | イベント記録中 | チャイム1回 | |

# 情報およびステータス表示

情報を表示、または該当ステータスを表示します。

| ステータス | イベント | 音声またはステータス | 表示 |
|---|---|---|---|
| 機器初期化が完了 | 挨拶メッセージ | チャイム | HELLO |
| | 衛星情報（衛星受信品質） | 音声なし | 5-45 |
| | GPSローディング | 音声なし | GPS FINE |

## 保証規定

修理を依頼される前に本取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、接続や使用の仕方が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や使用をしても改善されない場合は、保証書に必要事項をご記入いただき、 保証書の原本、製品に以下の事項を記した添付資料を添えてお買い上げ店にお持ちください。

以下のものをお送りください。

- ・保証書（原本）　必要事項を全て記入してください。
- ・製品
- ・不具合の状況を説明した資料
- ・修理品の返送先（郵便番号・ご住所・お電話番号・お名前）を記した資料

修理品を送付する時の注意点

- ・宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。普通郵便など控えが残らない方法での送付はお断り申し上げます。
- ・修理品をご送付いただく時の送料はお客様のご負担とさせていただきます。

## 保証書

| 型式 | | シリアル番号 | |
|---|---|---|---|

保証期間　　年　月　日

から12ヶ月

〔販売店名〕

印

【製造販売業者】
ＣＢＣ株式会社
〒104-0052
東京都中央区月島二丁目15番13号
URL:www.cbc.co.jp

左記期間中に正常な使用状態において万一故障した場合、本保証書により故障修理をいたしますので、本書を添えてお買い上げ販売店までお申し出ください。

尚、保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

お取扱いの不注意による損傷または故障
火災、天災または異常電圧による損傷または故障
弊社以外による修理または改造による損傷または故障
納入後の輸送、移動によって生じた損傷または故障
過酷な環境下での保存または使用のために生じた損傷 または故障
他製品との組み合わせ使用が適当でなかったことによって生じた損傷または故障
また、お預かりした映像データは、個人情報保護法に基づき責任を持って管理させていただきます。